

がおがおざうるすは、わるいこ  
がすき。

おねこいる。

ぼくは、がおがおざうるす。

ぼくは、いつもはらへり。

はらぺこざうるす。

ぼくがすきなものは。

わるいこ。

わるいこのわるいところをたべて。

いいこにするのがすき。

ぼくにわるいところをたべられたにんげんは。

どんなごくあくにんもいいひとにかわる。

でも、なんでだろう？

でも、なんでだろう？

ぼくにわるいところをたべられたにんげんは。

みんなじぶんでじぶんのことをころしちゃうんだ。

かなしいけど。

つらい。

かなしいけど。

とうとい。

ぼくがわるいこことをたべないと。

そのごくあくにんは、もっとたくさんをきずつける。

でも、ぼくがごくあくにんのところをたべると。

ごくあくにんがいのちをおとす。

どっちがせいかい？

どっちがただしい？

どっちのいのちもだいじ。

どっちのいのちもとうとい。

ぼくはざうるす。

ぼくはがおがおざうるす。

いつもはらへり。

ぼくがこころをたべるのは、ほんとうにくるしめるひとが「くるしい！」ってさげんだときのみ。

だから、ぼくはこころをいっばいたべない。

だから、ぼくはおなかいっばいにならない。

たべなくてもしなない。

でも、おなかはすく。

だけどね。

ぼくは、おもったんだ。

ぼくが、ひもじいおもいをするのをぐっところえる。

そしたら、だれもきずつかない。

そしたら、だれもくるしまない。

そしたら、だれもしなない。

ぼくは、がおがお。

ぼくは、がおがお。

ぼくは、がおがおざうるす。

がおーっとあらわれて。

がおーっとたべる。

たったそれだけでぼくのおなかはみたされる。

でも、そのまんぞくはぼくだけのもの。

だれかがきずつく。

ぼくがうまれたのはだれのため？

ぼくがくるしむのはだれのため？

ぼくのせいできずつくのはだれ？

こたえはふかい。

こたえはふかい。

こたえはふかいやみのなか。

ぼくはせいぎかんでなにもおこなわない。

そのせいぎはきっとぼくだけのもの。

だからくるしいっておおきなこえでさけんでほしい。

だからくるしいときは、おおきなこえでたすけをもとめてみて。

きっとだれかがたすけてくれる。

だってかれらはにんげんなのだから。

でもね、だすけてくれないひとしかいないときもあるだろう。

そんなとき、さけんでみてほしい。

そんなとき、そっとつぶやいてみてほしい。

そのときは。

そのときは。

そのときは。

ぼくがそのわるいこのところをたべに行く。

そしたらにここにこ。

みんなにここにこ。

ぼくは、がおがおざうるす。

ぼくは、はらぺこざうるす。

ぼくがすきなのは、わるいこのところ。

がおがおざうるすは、わるいこがすき。